

報 告 書

| | | | | |
|--------|--|-----------|--------|--------|
| 開催日時 | 令和3年10月12日(火) | 19時00分 | ～ | 20時30分 |
| 自治協議会名 | 島ヶ原地域まちづくり協議会 | 開催場所 | 島ヶ原会館 | |
| 出席議員 | 川上 善幸、釜井 敏行、近森 正利 (班員外 森中 秀哲、市川 岳人、百上 真奈) | | | |
| | 班 長 | (代理)川上 善幸 | 記録・報告者 | 釜井 敏行 |
| 参加人数 | 28 名 | | | |

【主な意見・提言等】

<自治基本条例について>

- ・自治基本条例の見直しの流れはどうなっているのか。
- 自治基本条例審議会条例が制定され、今後審議会で検討されていく。

<支所について>

- ・過疎が進む中で、地域の要として支所は残してほしい。条例上も位置づけてほしい。
 - ・自治基本条例を改正してから支所廃止の議論をするべき。順番が違うのでは。
- 地域福祉の考え方からすると、支所の廃止はあり得ない。対話が足りていない。
- 今後支所に必要な機能について、行政と市民がしっかり議論する必要がある。

<成人式について>

- ・成人式は20歳での実施に戻すべきではないか
- 18歳成人式の見直しを求める請願が議会で採択された。
- 請願者と市長、教育長が懇談を行う予定。市長も対話の意思はあるので様子を見守っていく。

<防災無線について>

- ・島ヶ原も含め、防災無線の行く末はどうなるのか。
 - ・デジタルの個別受信機を補助金ももらって設置して欲しい。住民負担をできるだけ軽く。
- 防災無線は廃止の方向だが、その後の代替案についてはっきりした答えは出ていない。
- DXもしっかり機能していくのか注視していきたい。個別受信機の補助も求めている。

<清流について>

- ・清流の撤退の話がでている。住民の生活に必要な福祉施設について議会はどのように考えるか。
- 行政の責任として、防災・福祉の拠点はきちんと確保する必要があると考える。
- 赤字が続いている状況で厳しい状況。守っていくには地域の力が必要。

<過疎化について>

- ・島ヶ原が過疎地域に指定された。過疎債の申し込みをおこなっているため議会も推進し

てほしい。

- ・島ヶ原の活性化のため議会として行政に働きかけてほしい。

→過疎債については行政が大まかな概要をつくっている。議会に説明があった際に確認する。

→過疎の問題を解決するためには公共交通のあり方がポイントになってくる。

<財政について>

- ・合併してから、何に予算を使って赤字になったのか、市は説明する必要があるのでは。

- ・どのように財政を再建しようとしているのか意見を聞きたい。

→合併しなかった自治体は厳しい財政状況だが、行政と住民が厳しい状況を共有している。

お互いに顔が見える状態にすることが大切。

→二元代表制なのでしっかりとチェック機能を果たしていきたい。

<米価下落について>

- ・米価が下がっていて農業が続けられない。どのように対策していくのか。

→伊賀市独自の農業政策は弱い。集約化、効率化が大事だがそれができない地域が課題。

個人への補助は難しいが、地域の声を届けていきたい。

伊賀市議会議長 様

令和3年11月16日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和3年度地域意見交換会 4 班

班長 山下 典子
